



Adherence

アナストロゾール錠1mg「トーフ」

アドヒアランスブック

booklet

監修 聖路加国際病院 薬剤部長 後藤 一美 先生

はじめに

このアドヒアランスブックは、患者さんにアナストロゾール錠をより安全に、安心して服用頂くために作成いたしました。

アドヒアランスとは「患者さんが積極的に治療方針を決定し、その決定に従って治療を受けること」を意味する言葉です。つまり、なぜお薬を飲むのか、患者さん自身にその理由をしっかりと考えて頂き正しく服用することで、期待される治療効果を十分に上げようとする考え方です。

術後乳がんの治療では、このアナストロゾール錠を5年の長期にわたり服用して頂かなければなりません。それは患者さんにとって、とても大変な事であると同時に、正しく服用し続ける事で治療の成績も向上いたします。

正しく服用して頂くためにはお薬の効能や効果、服用方法など基本的な知識に加え、副作用や特徴的な症状、その副作用や症状への対処法などを十分に理解し、常にご自身の体調を観察記録して頂く事が重要となります。

このアドヒアランスブックは、この重要なポイントを適切にできるだけ簡便に把握し記録して頂くために考えられたサポートツールです。患者さんには、このアドヒアランスブックを常に携帯して頂き、医師や薬剤師と情報を共有しながらより安全で安心な治療を続けて頂けるように願っております。

聖路加国際病院 薬剤部長 後藤 一美

アナストロゾール錠の服用方法

1日1回1錠を、水またはぬるま湯と一緒に服用してください。毎日、できるだけ同じ時刻に服用するようにしましょう。

飲み忘れた場合

飲み忘れた場合は、気がついたときにできるだけ早く飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回分をとばし、次の通常の服用時間に1回分を飲んでください。2回分を一度に飲まないようにしてください。

その他の注意点

誤って多く飲んでしまった場合は主治医または薬剤師に相談してください。

また、主治医の指示なしに、自分の判断で服用を止めないでください。

アナストロゾール錠の副作用

アナストロゾール錠を服用すると、下記のような副作用があらわれることがあります。

特に注意してほしい副作用の症状

下記のような症状があらわれれば、すぐに主治医または薬剤師に連絡してください。

<皮膚粘膜眼症候群>

発熱、食欲不振、中央に浮腫を伴った紅斑

<肝機能障害・黄疸>

全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目などの黄染

<アナフィラキシー様症状・血管浮腫・蕁麻疹>

くちびる・舌などの腫れ、呼吸困難、かゆみを伴う発疹

<間質性肺炎>

発熱、から咳、呼吸困難

<血栓塞栓症>

局所の痛みや腫れ、胸痛、呼吸困難

<骨粗鬆症>

骨折しやすくなる

気になる・つらい・煩わしいと感じる症状がありましたら、主治医または薬剤師に相談してください。

比較的あらわれやすい副作用

<関節痛・手指のこわばり>

手指、手首、ひざなどの関節に痛みがあらわれたり、朝、手指が曲げづらくなったりする副作用です。

お薬など適切な対策を行うことで痛みを和らげることができます。

<ほてり>

更年期症状と同じように、突然顔が熱くなったり、汗が流れ出てくる副作用です。

扇子を携帯したり、脱ぎ着しやすい服装をすると、症状があらわれたときに対応しやすくなります。

関節痛・手指のこわばりと同様に、多くの場合、次第に症状が軽くなっていきます。

関節症状		ほてり	
1日にどの位 ありますか	☐ 朝や晩だけ ☐ 1日のうち何度か ☐ ほとんど一日中	1日にどの位 ありますか	☐ 1日に1~2回 ☐ 1日に3~4回 ☐ 1日に5~9回 ☐ 1日に10回以上
週にどの位 ありますか	☐ 週に2~3日 ☐ 週に4~5日 ☐ ほとんど毎日	週にどの位 ありますか	☐ 週に2~3日 ☐ 週に4~5日 ☐ ほとんど毎日
痛みや違和感 は、どの位 続きますか	☐ しばらくすると消える ☐ 動かしていると良くなる ☐ ずっと痛い(違和感を感じる)	症状が出た時、 どの様な 状態ですか	☐ しばらくすると治まる ☐ 家事や仕事を中断する事が有る ☐ 家事や仕事に支障が出る
対処について	☐ 対処なしで我慢できる ☐ 対処をしており我慢できる ☐ 対処していても我慢できない ☐ 対処したが我慢できない	対処について	☐ 対処なしで我慢できる ☐ 対処をしており我慢できる ☐ 対処していても我慢できない ☐ 対処したが我慢できない

今回受診日	年	月	日
お薬を飲まない日があった	☐ 有り	☐ 無し	
理由について	☐ 飲み忘れ	☐ その他	副作用[]
残っているお薬の数	錠		
次回受診日時	年	月	日 :

<相談したい事>	☐ お薬等の飲みあわせ	☐ 医療費について
	☐ 抗がん剤治療について	☐ 食事について
	☐ 検査結果の見方	☐ その他
<その他気になる事>		

服用2年目をむかえて

1年間服用を続けて、関節痛・手指のこわばり、ほてりなどの症状はいかがでしょうか？気になる、つらいなどと感じている場合は、我慢せず主治医または薬剤師に相談してください。

月1回の自己触診を続けていますか？

自己触診は、乳房の異常を早期に見つけることができます。これからも、月1回続けてください。

定期検診をきちんと受けていますか？

定期検診は、乳房の状態を確認するだけでなく、副作用の症状やその症状に対処するお薬が必要かどうかなども確認します。

より良い状態で、お薬の服用を続けられるように、これからも定期検診をおすすめします。

服用3年目をむかえて

お薬の飲み忘れ等はありませんか？

19ページの上のグラフは、予定どおりにお薬の処方を受けていたかどうかで、予後の違いを調べた研究結果です。予定どおりに処方を受けていた患者さんのほうがより予後が良かったということがわかります。

19ページの下グラフは、予定通り処方を受けた患者さんが、正しく服用を続けていたかどうかによる予後の違いを調べた研究結果です。こちらも、正しく服用を続けていた患者さんのほうが、予後が良いことが示されています。

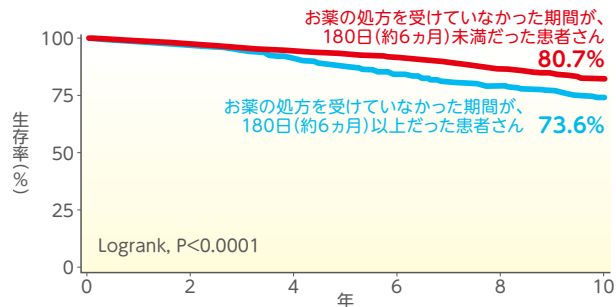
このような研究結果からわかるように、お薬をきちんと飲み続けることは大切なことです。

お薬をきちんと
飲むことが
大切なんですね。

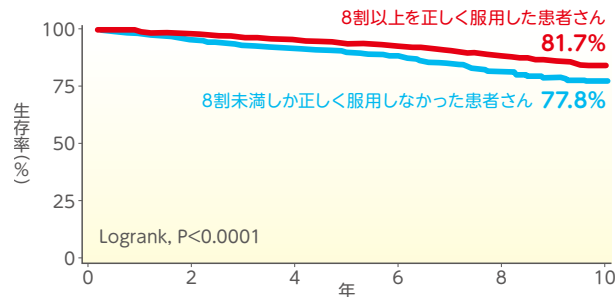


※この資料は術後ホルモン療法のデータです。(タモキシフェンとアロマターゼ阻害薬)

予定通りにお薬の処方を受けていたかどうかによる予後の違い



予定通り処方を受けた人が正しく服用を続けたかによる予後の違い



Hershman DL, et al.: Breast Cancer Res Treat; 126(2):529-37, 2011.

服用4年目をむかえて

お薬の服用期間の半分か過ぎました。気になる症状や体調の変化はありませんか？

アナストロゾール錠では、骨の密度を低下させて、骨折しやすくなる副作用がでることがあります。この副作用の特徴は、骨折するまで特に症状があらわれません。症状のないうちから適切な対策を行うことで骨折の予防をすることができます。

対策としては、定期検診で骨の密度を確認し、必要に応じて骨の密度の低下を防ぐお薬を服用することが大切です。

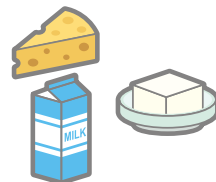
骨折を防ぐ日常生活での工夫を25ページに記載していますので、参考にしてください。

今後も定期的な検診、自己触診をおこないながら、服用を続けてください。また、気になることがありましたら、気軽に主治医または薬剤師に相談してください。

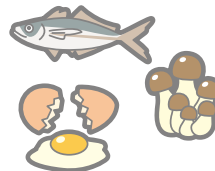
骨折を防ぐ日常生活での工夫

①カルシウムやビタミンDを含んだ食事を心がける

カルシウムは、牛乳、チーズなどの乳製品、大豆製品、小魚などに多く含まれています。



ビタミンDは、魚介類、キノコ類、卵などに多く含まれています。



②適度な運動を行う

軽いウォーキングやジョギングなどの運動で十分です。



5年間の服用を終えて

長期にわたる服薬治療は、ひと区切りをむかえました。

乳房の異常を早期に発見し対処することの大切さは、これからも変わりません。

主治医の指示どおり、定期的な検査や受診をおすすめします。

これまでと同様に月1回の自己検診を続け、気になることがありましたら、早めに相談してください。



緊急の連絡先

病院・医院名

電話番号

担当医師名

科

お問い合わせ窓口

memo

発行：2013年

監修：聖路加国際病院 薬剤部長 後藤 一美

提供：東和薬品株式会社

本冊子の内容を許可なしに複製、複写(コピーなど)、転載することは法律で認められた場合を除き禁じられています。